

# 地域クラブの中学校体育大会参加条件

クラブ参加条件

- ・全ての競技で各地区大会からの参加とし、中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームまたは個人とする。
- ・陸上・バスケットボール・卓球・剣道・体操・新体操においては、地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足したスポーツ団体、地域移行の受け皿となっているスポーツ団体とする。（個人・団体種目ともに）
- ・競技団体への登録は必須とする。
- ・1つの活動母体から出場できるのは1チームのみとする。
- ・冬季競技（駅伝含む）については令和7年5月中旬に公表する。

R 070120

No.	種 目	R 7クラブ対応（参加資格等）
1	陸 上 (駅伝除く)	<p>クラブ監督が引率すること。</p> <p>個人種目は在籍している学校の所属、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、または「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」で参加することができる。（ただし日本陸上競技連盟への登録は必須とする。）いずれの場合も、在籍している学校が所在する都道府県より標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。</p> <p>リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、または「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」で参加することができる。（条件あり）</p> <p>複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。</p>
2	軟式野球	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。クラブ監督が引率すること。</p> <p>以下に示す条件を満たしていること。</p> <p>(1) 継続的に活動し、都道府県軟式野球連盟に加盟している。</p> <p>(2) 指導者は以下に示すいずれかの資格を保有している。</p> <p>①日本スポーツ協会公認コーチ1（軟式野球）</p> <p>②日本スポーツ協会公認コーチ3（軟式野球）</p> <p>③BFJ公認野球指導者基礎Ⅰ（U-15）</p> <p>※監督が保有していることを条件とするが、保有していない場合には、コーチ（日常的に指導に関わり、メンバー登録される者）のうち最低1名が保有していること。</p> <p>(3) 大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。</p> <p>※審判員については「一般財団法人全日本野球協会 アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。</p>
3	ソフトボール	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。クラブ監督が引率すること。</p> <p>以下に示す条件を満たしていること。</p> <p>(1) 継続的に活動し、日本ソフトボール協会に登録している。</p> <p>(2) 指導者（監督・コーチ）のうち最低1名は、日本スポーツ協会公認資格を有している。</p> <p>(3) 大会運営に協力できる人員を確保している。</p>
4	サッカー	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。クラブ監督が引率すること。</p> <p>U-15チームがクラブユース連盟へ加盟登録していないこと。（※クラブユース連盟に所属しているクラブ内からは、いずれのU-15チームおよびセカンドチームも出場できない。）</p> <p>学校団体ではない場合は、JFAへのチーム登録をしていること。</p>
5	バスケットボール	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。クラブ監督が引率すること。</p> <p>令和7年度の地域クラブ活動の出場に関する細則を以下のようにする。なお団体が大会参加を希望する場合には、都道府県中学校体育連盟と都道府県中学校体育連盟バスケットボール部が条件を満たしているか協議・確認をしたうえで参加を認める。</p> <p><b>【出場を認める条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために設置されている、地域移行の受け皿となっている地域クラブ。</li> </ul> <p>ただし、対象の地域クラブは都道府県中学校体育連盟に加盟している単独又は複数の中学校単位で構成されており、日常的に活動が持続されている場合に限る。なお、複数の中学校から選手を選抜し、編成された地域クラブの出場は認めない。</p>

6	バレーボール	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。クラブ監督が引率すること。          中学校の部活動チームが大会に参加する場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブの参加は認めない。</p> <p>(1)～(9)の全ての条件を満たすこと。</p> <p>(1) (公財)日本中学校体育連盟からの『令和5年度からの全国中学校体育大会への地域クラブ参加条件について「全国中学校体育大会開催基準 7 参加資格 参加資格の特例」』に記載されている内容を網羅していること。</p> <p>(2) JVA-MRSのチーム登録が完了していること。</p> <p>(3) 所在地が明確であること。</p> <p>(4) 募集要項やホームページ等で公募していること。</p> <p>(5) 年間を通じて、日常持続的(週単位)に練習している場所と所在地が一致していること。JSPO公認指導者資格を有する成人指導者が常時指導に当たっていること。</p> <p>(6) ベンチ入りする監督・コーチのいずれかがJSPO公認指導者資格を有する成人であること。</p> <p>(7) チームや団体として規約があること。</p> <p>(8) JVA-MRSの個人登録が完了していること。</p> <p>(9) 各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。</p> <p>※全ての選手・スタッフは、各都道府県大会予選より全国大会まで、一人同一のチーム登録とし、複数のチームから出場することはできない。</p> <p>これに違反した場合は、「当該選手・スタッフは次年度の大会参加は不可」・「本大会の結果を全て無効とする」等の罰則が発生する。</p>
7	バドミントン	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。</p> <p>シングルスとダブルスを兼ねることはできない。</p> <p><b>【指導資格を有する指導者の資格要件】</b></p> <p>(1) 地域クラブの指導者は、日本バドミントン協会公認審判員資格(3級以上)を取得していること。</p> <p>(2) 令和7年度末までに日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(バドミントン)資格所持者が最低1名は所属していること。(令和8年度からは必ず資格所持者が所属していること。)</p> <p>①短期間で取得が困難な場合は、団体登録後、3年以内に取得することを可とする。</p> <p>②コーチングアシスタント、スポーツリーダー、スタートコーチ、他競技の指導者資格スポーツ少年団スタートコーチも含む。</p> <p><b>【大会出場の際の要件】</b></p> <p>(1) 監督・マネージャー・(生徒)・外部指導者(コーチ)、個人戦出場許可申請者(成人)は、当該地域クラブの所属員代表者・事務担当者・指導者・所属中学生とする。</p> <p>(2) 当該地域クラブの所属員(代表者・事務担当者・指導者)が、大会に出場する際、重複して他の地域クラブや中学校の監督・マネージャー(生徒)・外部指導者(コーチ)、個人戦出場許可申請者(成人)になることはできない。</p>
8	ソフトテニス	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。</p> <p>地域クラブの指導や大会でのベンチ入りには必ず、日本スポーツ協会公認の「コーチ1」以上の資格を有するものが在籍しており、大会においてベンチ入りする者はその有資格者であること。(ただし、当該年度は取得中の者でも可とする)</p> <p>参加を希望する地域クラブは、本大会に出場するために設立されたものではなく、「地域」における継続的なスポーツ活動を確保しようとする目的のものであること。</p>
9	卓球	<p>中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。</p> <p>「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」とする。</p> <p>(1) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(卓球公認コーチ1以上)が必ず1名は在籍していること。</p> <p>(2) 大会への参加を希望する地域クラブの構成員は日本卓球協会、都道府県卓球連盟、各都道府県中学校体育連盟の登録及び年会費の支払いを行うこと。</p> <p>(3) 代表者、参加要件を満たすために在籍している日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(卓球公認コーチ1以上)及び選手は、他の地域クラブに重複して登録できない。</p>

10	柔道	個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。 大会の引率、監督、帯同コーチは、全柔連公認指導者資格を有していること。 同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域クラブの大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和7年度内の参加を認めない。
11	剣道	中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」とする。 年度当初に所属中学校もしくは地域クラブのどちらから参加するかを申告する。期間は1年とし、年度途中で変更することは認めない。 3年間同一団体から出場することが望ましい。
12	相撲	個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。 個人戦・団体戦ともに県大会からとする。 日本相撲連盟に、選手は登録していること。
13	体操	中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」又は同一学校に在籍していることを条件とする。
14	新体操	中体連各地区内の中学校に在籍する生徒で編成したチームとする。個人戦・団体戦ともにクラブ監督が引率すること。 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ」又は同一学校に在籍していることを条件とする。 団体の出場については、各所属から1チームのみとする。同一中学校からの部活動とクラブチームの2チーム出場は、同じ学校から2チームとみなすため出場は不可とする。
15	水泳	クラブ監督が引率すること。 地域クラブからの参加要件 (1) 地域クラブの登録所在地の都道府県から参加すること。 (2) 地域クラブで全国中学校水泳競技大会につながる予選大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。 (3) 全国中学校水泳競技大会につながる予選大会(郡市大会等も含む)の申し込み締め切りから本大会終了まで、出場団体の変更はできない。
16	ハンドボール	県大会からのエントリーとする。クラブ監督が引率すること。 クラブチームで県中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合、必ず代表者は、生徒の所属する校長に参加することを連絡し、承諾を得ること。(書面通知・書式の指定なし) チームは日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者のもとに適切に行われていること。また、指導者は(公財)日本ハンドボール協会の競技者及び役員倫理規定に基づく処分を受けていない者であることとする。

※ 地域移行の受け皿となっているスポーツ団体とは、自治体が地域移行の受け皿として認めたスポーツ団体である。

※ クラブにおいて、A市からは地域移行の受け皿として認められたがB市からは認められていない場合、A市の中学校生徒はA市の地区大会より参加できるが、B市の中学校生徒は参加できない。